

古淵鵜野森公園の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

資料6-3

1 古淵鵜野森公園の管理に関する仕様書「3(2)～(5)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業 務 の 内 容				頻度等			
大分類		概 要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
公園全般の供用時間	ア	管理事務所	8時00分～22時00分				休所日等なし
	イ	駐車場	8時00分～22時00分				休所日等なし
	ア	平等利用の確保	利用者の平等・公平を図る。				
	イ	職員体制の確立	古淵鵜野森公園を統括する責任者を配置する。事務室には業務に支障のないよう、原則常時1名以上の施設全般を把握している職員を配置し、運営にあたる。ただし、日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律に定める祝日は原則2名以上配置する。また、プール開場期間は多数の利用者が来場しても対応可能な職員体制を構築する。				
	ウ	利用者等のニーズの把握	施設管理や事業等、質の高いサービスを提供出来るように利用者等のニーズを的確に把握する。	利用者満足度調査		2回/年	利用者のニーズを把握し、モニタリング等の結果も踏まえ、施設運営に反映させること。ニーズを反映させることを目的に具体的な調査を行うこと。
				利用者ニーズの把握		随時	
	エ	要望・苦情対応	迅速な対応を取り適切な処理を行う。				苦情等への対応マニュアルを作成するなど適切な対応ができる体制を整えること 利用者からの要望を管理運営に反映しやすい体制を整えること
	オ	公園の特色を生かしたイベントの開催	特色ある公園づくりを図るため、公園の魅力を生かした管理者の創意工夫あるイベントを開催する。	地域活性化に資するイベント		1回/年	施設活性化及び地域活性化に資するイベントの開催
				緑化イベント		1回/年	アジサイフェア・クレマチスフェア(実施例)

カ	情報提供・広報	窓口に施設のパンフレットなどを配架し、施設情報の発信を図る。 また、施設の記録用として、イベント時の様子や風景等を撮影し、保持すること。 イベント告知や施設のPRをSNS等様々な媒体を使い、広く発信し、来園者の増加をはかること。				施設案内用パンフレットを作成すること。
						季節ごとの風景（様子）やイベント時の様子を撮影し、施設記録用や広報等提供用に残しておくこと。依頼があった際には提供できるようにすること。
キ	研修の実施	職員の育成及び運営に必要な研修を実施し、常にスキルアップを図る。				
ク	園内の巡回	随時園内を巡回し、施設の異常個所の早期発見や、不適切な利用（自転車の乗り入れ、ノーリードでの犬の散歩、歩行喫煙や喫煙場所以外での喫煙、ホームレス等）を行っている者への指導を行う。				不適切な利用者等への指導（対応）記録を作成すること。
ケ	駐車場・駐輪場の整理	不適正駐車や公園周辺道路への違法駐車対策及びイベント等混雑時における駐車場等の整理を行う。 イベント開催時の際の調整。 プール供用時は、誘導員の配置などにより、駐車場の適正利用の推進や公園周辺道路への違法駐車対策を行うこと。 放置自転車及び放置車両については、盗難届け及び防犯登録を所管の警察署に確認後報告すること。 放置自動車と確認できた場合は、速やかに市に報告すること。	鍵施錠・開錠		毎日	駐車場：51台（内、障害者用2台） 駐輪場：1箇所（管理事務所脇）
			違法駐車対策		随時	
			放置自転車届出事務		随時	
コ	行為の制限・禁止及び制限の解除に係る連絡調整	相模原市都市公園条例第3条及び第5条を良く理解し、禁止行為を見つけた際には注意を行うとともに、行為の制限については、必要に応じて手続き等の説明を行うとともに、行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行う。				相模原市都市公園条例第3条に基づく行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行うこと。

	サ	利用の禁止・制限	相模原市都市公園条例第6条により、やむを得ないと認められる場合には、区域を定め、利用の禁止又は制限を行う。				
	シ	業務報告・連絡調整	管理日誌の作成及び日々の利用状況等の報告資料の作成。 業務処理状況の記録及び毎月の報告書の提出。 事故・災害等緊急事態が発生した場合における迅速、適正な対応・処理及び報告を行う。 警報発令時における警戒配備態勢の設置。（災害時業務マニュアルを参考）	管理日誌の作成・報告		毎日	
				苦情処理対応や要望処理状況の記録・報告		随時	提出は月毎。 不適切利用者への指導（対応）記録を添付すること。
				事故・災害時の対応		随時	
				急病・犯罪等の事故報告		随時	
				自然災害時の警戒配備態勢等		随時	
	ス	利用者のサービスの増進	公園利用者の利便性の向上のために便益施設を設置することができる。 ただし、別途、指定管理者には、設置に係る市への許可申請及び許可にともなう使用料の負担が必要。				売店、キッチンカー及び自動販売機等
	セ	多目的グラウンドの運営	供用日及び供用時間にグラウンド利用が可能な状態にすること。 団体登録の受付等を行うこと。 専用使用の抽選、申し込み受付及び承認を行うこと。 事故発生時等の迅速かつ適切な対応に万全を期すること。	鍵施錠・開錠		供用日	【専用使用できる時間】 日曜日・祝日の午前・午後、並びに 火曜日・木曜日・土曜日の午後で1 回の使用時間は2時間
				団体登録の受付・取消し		随時	
				一般専用使用の抽選		1回/月	
				専用使用申込の受付・承認		随時	
				事故発生時の対応		随時	
運動施設の運営	ア	屋外水泳プールの利用承認・予約管理・受付	一般利用者に対しては、券売機により、入場券を交付する。 施設の管理上適当でないと認められる者があるときは、法・条例に基づき、その入場を拒み、又は退場させるなどの対応を取ること。	利用承認等		随時	
				入場の制限		随時	
	イ	屋外水泳プールの使用料徴収・納付	一般利用の使用料の徴収は自動券売機により行う。 一般利用者の使用料減免については、相模原市都市公園条例施行規則に従い所定の入場券を交付する。 徴収した現金については、市の公金管理基準に従った管理を行い、金融機関の非営業日等を除き、原則として毎日納付する。	使用料徴収		随時	
				銀行への納付			

	ウ	屋外水泳プール供用時の監視	プール供用時は、「３ 古淵鵜野森公園屋外水泳プール監視実施基準」に基づき監視員を配置し、利用者の安全や事故発生時の迅速かつ適切な対応に万全を期すること。				
	エ	周辺施設等との調整	プール供用時は、混雑による周辺交通への影響も考えられるため、適宜周辺施設等との調整を行い、安全かつ円滑な運営を図ること。				
提案	ア	自然環境や緑化意識の啓発方策	施設や地域の活性化を図るため、指定管理者の独自性のある創意工夫を凝らした事業を提案することができる。なお、事業の実施に関する提案については、実施回数及び規模についても提案すること。施設の運営の中で生じた提案については、市に対して提案することができる。 ボランティアの拡充のため、連携や協力した事業を行うことができる。 指定管理者の判断により、公園の設置目的ののった事業（教室）を行うことができる。 予算を伴う提案については、市の予算編成スケジュールにのって行うこと。				
	イ	ボランティアや地域団体等との連携・協働					
	ウ	事業の実施・利用促進方策					施設や地域の活性化に資する事業の実施については積極的に提案すること。
	エ	施設の供用時間の変更					上記の供用時間を基本とするが、変更等の際は市と協議のうえ、決定すること。
	オ	その他公園の運営に関する事項					

2 古淵鵜野森公園の管理に関する仕様書「3(6)～(9)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業務の内容				頻度等		
大分類		概要	小分類	数量・範囲	頻度	備考
清掃・点検等施設の維持管理	ア	管理事務所の管理	点検	1箇所	随時	1階建：1棟 / 334.5 m ² (管理事務所)
			鍵施錠・開錠		毎日	
			日常清掃		毎日	
			定期清掃		年2回	
			自動体外式除細動器(AED)の配備	1台	通年	・AEDは、定期的に作動チェック等のメンテナンスを行い、電池・パッド等の消耗品について必要に応じて交換すること。 ・職員に対してAEDの使用方法や、救急救命の研修を含めた訓練を行うこと。
	イ	トイレの管理	点検	2箇所	1回/日	屋内：1箇所(管理事務所) 屋外：1箇所(グラウンド奥)
			鍵施錠・開錠		毎日	
			清掃		毎日	
			ペーパー交換		随時	
	ウ	水飲み場の管理	清掃・点検	4箇所	毎日	
		手洗場の管理	清掃・点検	1箇所	毎日	
	エ	園路・広場等園内の管理	点検	24,000m ²	毎日	
			園内清掃	24,000m ²	毎日	
	オ	ベンチ・スツールの管理	点検・修繕	16基	随時	
	カ	遊戯施設の管理	点検	7基	随時	複合遊具1基、健康遊具2基、バネ遊具2基、バスケットゴール2基

キ	受水槽の管理	関係法令の基準に基づき、清掃作業にあたること。 作業員の作業衣及び作業器具は、専用のもので、かつ消毒済みのものを使用すること。	点検	1基	随時	
			清掃			
ク	桝・排水溝の管理	側溝・集水桝・浸透桝等の性能を回復するため、溜まったゴミや土砂等は取除く。落葉期間に外周道路の落ち葉を清掃する。	点検	-	4回/年	
			清掃		随時	
ケ	作業用具の手入れ	用具入れや倉庫等は常に必要な手入れを施し、整理整頓をする。			随時	
コ	駐車場・駐輪場の管理	日常点検及び清掃等	日常点検		毎日	駐車場：51台（内、障害者用2台） 駐輪場：1箇所（管理事務所脇）
			清掃		毎日	
			閉鎖時間告知看板の交換		随時	
サ	保守点検	関係法令の基準に従い、法定・定期・日常点検等の状況を常に把握し作業にあたること。 時計については、毎日時報等で確認し、正確性を保つこと。 古淵鶴野森公園の建築物は特定建築物に該当しないため、建築基準法第12条第2項に基づく定期調査は不要である。	放送設備の保守点検	1箇所	随時	管理事務所
			園内灯保守点検	42基	随時	
			時計	1基	随時	
			受水設備点検		1回/年	法定点検
			地下水ポンプの点検		1回/日	
シ	多目的グラウンドの管理	利用者が安全に利用できるよう、施設の点検や清掃等を行うこと。 故障等を発見した場合は、修繕を行うこと。 必要に応じてグラウンド整備や砂入れをし、晴天時には砂の飛散防止のために水撒きを行うこと。	点検	1面	1回/日	年末年始を除く
			清掃、除草	1面	随時	
			グラウンド整備、砂入れ 転圧	1面	随時	
			晴天時等の水撒き （スプリンクラー）	1面	随時	周辺等への砂の飛散防止
ス	管理区域周辺の市管理地に係る巡回・清掃	斜面緑地等周辺の見回りを定期的に行い、適正な状態を保つこと。	巡回・点検・清掃		随時	

運動施設の維持管理	ア	屋外水泳プールの管理	<p>毎年、プール供用期間開始前には供用部分を清掃し、関係法令等に従い、受水槽清掃や害虫等駆除を行う。受水槽への給水後は、以下の基準を満たしていることを確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素イオン濃度 PH値5.8以上8.6以下 ・遊離残留塩素濃度 0.4mg/ 以上 ・濁度 2度以下 ・過マンガン酸カリウム消費量 12mg/ 以下 ・大腸菌 検出されないこと ・一般細菌 200CFU/m 以下 <p>プール供用期間中は、供用部分の清掃を行い、常に清潔な状態を保つこと。</p> <p>また、文部科学省及び国土交通省が定める「プールの安全標準指針」、厚生労働省の定める「遊泳用プールの衛生基準」及び「神奈川県海水浴場等に関する条例」に基づいた水質を維持すること。</p>	供用期間前準備		1回/年	
				プール水質管理		随時	雨天等により、貸出を行わない日を除く。
				供用期間中の清掃		随時	雨天等により、貸出を行わない日を除く。
樹木等の育成管理	ア	樹木の管理 (憩いの森、むつみの森)	<p>倒木等で公園利用者の安全が脅かされないようにするため、高木・中木の剪定、伐採や頭詰めについては、年度ごとの計画を策定し、それに基づき計画的に実行していくこと。</p> <p>剪定等については、針葉樹の場合は萌芽力を損なわないように芽摘みを行い、花木類の場合は、花芽分化の時期に注意すること。</p> <p>枯枝、折枝、建築限界を侵して人や車に接触するおそれのある低い枝(危険枝)、公園利用者等の視界を妨げる枝(支障枝)、病害虫に侵され、治癒や駆除ができない枝(病虫害枝)等については、年度計画問わず、その危険度合いにより、出来るだけ速やかに対応すること。</p> <p>植栽については、定期的に刈り込みを行うこと。</p> <p>害虫等が発生した際に散布する薬剤は、農薬取締法上で人畜無害及び魚毒性の低いもので、腐食性・引火爆発性のない安全性が高いものを使用し、関係法令に従って実施すること。</p>	剪定(高木)		随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				剪定(中木)		随時	管理上の支障枝について適宜実施。
				刈込(低木・たま物・生垣)		随時	雑木・低木
				枯損木の撤去		随時	
				病虫害防除		随時	「住宅地等における農薬使用について」に従い実施する。
	イ	アダプト活動への協力	当該公園含めた近隣地区の自然環境を守るために活動を行っている、アダプト団体であるNPO法人境川の斜面緑地を守る会の活動について協力を行うこと。			随時	
	ウ	その他園内の管理	<p>除草については、フォーク等を用い人力で根ごと除去し、機械を使用する場合は肩掛式を使用すること。樹木や施設の損傷に注意しつつ、刈り残しやムラのないよう均一に刈り込み、つる性雑草も除去すること。</p> <p>作業に伴って出た発生材は園内処理の場合、毎日所定の箇所に集積し、刈り後は園路等に散乱した草の清掃等を行うこと。</p>	草刈	6,000㎡	3回/年	機械により行う際は、複数人で作業をし、1人は必ずシートや板等で養生し、小石の跳ね飛ばし等による被害がないようにすること。
				抜根	200㎡	3回/年	
				除草		3回/年	

3 古淵鵜野森公園屋外水泳プール監視実施基準

古淵鵜野森公園屋外水泳プールにおけるプール監視業務の基準は次のとおりとする。

1 人員配置基準

(1) 管理責任者

ア 管理責任者は、次のいずれかの資格を有する者とする。

- (ア) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳指導員
- (イ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳上級指導員
- (ウ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳コーチ
- (エ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳上級コーチ
- (オ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳教師
- (カ) (公財) 日本スポーツ協会公認水泳上級教師
- (キ) (公財) 日本スポーツ施設協会水泳指導管理士
- (ク) (公社) 日本プールアメニティ協会プール衛生管理者

イ 管理責任者は、水泳プールの管理運営業務を総括する責任者として、安全かつ衛生的な管理運営にあたること。

(2) 監視業務従事者

監視業務従事者は、心肺蘇生法ができ、次に掲げる有資格者と同等の能力を有し、500m以上の泳力者で健康的なものとする。なお、資格を有していない者は資格取得に努めること。

- ア (公財) 日本水泳連盟の基礎水泳指導員
- イ (公財) 日本スポーツ協会公認の水泳教師、水泳コーチ、水泳指導員
- ウ 日本赤十字社の水上安全法救助員(指導員)
- エ 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会のプールライフガード
- オ 特定非営利活動法人日本災害救護推進協議会 A 級ライフガード

(3) 監視人員

遊泳者数、遊泳規則、水深、監視員のスキル等を踏まえ、プール全体がくまなく監視できるよう、下記を参考に適切に配置すること。

監視人数	備考
5 ポイント以上	内 1 名は監視台に配置すること 幼児用プール、スライダー含む。

ポイントとは、常時必要な監視員の人数をいう。

(4) コントロール等の業務

コントロール	全体の監視状況の掌握及び指示系統の統括及び利用者支援業務を行う。
パトロール	随時巡回行動を行い、全ウェットエリアの監視業務を行う。

(5) 監視業務従事者等の教育・訓練について

監視員等の教育・訓練については、次のア～オの内容を必ず含むようにし、オについては必要に応じて随時実施すること。

ア プールの構造及び維持管理

イ プール施設内での事故防止対策

ウ 事故発生等緊急時の措置と救護

エ 緊急事態の発生を想定した実地訓練

オ 日常業務等において従事者が経験した「ヒヤリとしたこと」、「ハッとしたこと」や「気がかりなこと」、利用者からの苦情等を題材とした事例研究

2 実施基準

プール監視業務に当たり、次に掲げる「人的監視業務」並びに「物的監視業務」を行うこと。

(1) 人的監視業務

利用者の状況を随時把握し、その異常に対して迅速かつ適切な対処を行う。また、混雑具合や開放状況によって想定される事態を予測し、監視員相互の連絡体制のもと適切な安全管理を図ること。また、利用者支援業務等による快適性を保つこと。

(2) 物的監視業務

施設及び備品の破損、設備不良を早期発見し、それに起因する事故等を防ぐこと。

3 看護業務について

供用時間中は、看護業務に従事する者として、看護師の資格を有する者を常に1名配置すること。